

# 地域文化における協働の可能性

～文化インフラの形成について～



Breaker Project 「作業場@旧今宮小学校」



Breaker Project 「ちよちよまうヴァナキュラー ～にしなり+路上+野点+屋台」  
きむらとしろうじんじん、天下茶屋駅東口広場、2022年、photo: 草本利枝

日時 | 2023年2月9日(木)

13:45～16:30(受付13:15～)

場所 | 市民交流プラザふくちやま 会議室3-3

(京都府福知山市駅前町400)

講師 | 雨森 信 (Breaker Project ディレクター)

参加費 | 無料(要申込)

申込締切 | 2023年2月8日(水)16:00

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会(京都府ほか)

助成 | 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

お申込み |

<https://kyotohoop.jp/program/chutan20230209/>

WEBのフォームにてお申込みください

地域文化の担い手はプレイヤーとして文化事業実施をおこなう個人・団体ではありません。文化事業の企画や施設の管理運営をおこなう自治体・行政または民間企業、そして鑑賞者や享受者などあらゆる立場からの参加が望まれます。このように様々な立場の人たちが協働することによって、文化活動はより継続的になり、地域に根ざしたものとなるのではないのでしょうか。

今回の京都府中丹地域プログラムでは、大阪市の文化事業「Breaker Project」のディレクターとして長年、地域のなかでアートプロジェクト実践している雨森 信さんをお招きし、「地域文化における協働の可能性」というテーマのもと、文化活動への関わり方やさまざまな立場からの協働の方法について考える研修イベントを開催します。



# 地域文化における協働の可能性

～文化インフラの形成について～

## プログラム | PROGRAM

### 1 : 講義 13:45 ~ 14:30

#### 「地域に根ざして活動するアートの実践～ブレーカープロジェクトの事例より～」

講師：雨森信（Breaker Project ディレクター）

2003年より大阪市の文化事業としてスタートした Breaker Project は、芸術と社会をつないでいくことを目的とし、表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造活動の現場をまちの中に開拓していく地域密着型アートプロジェクトです。その20年以上にわたる実践のなかから、大阪市や西成区との協働について、地域におけるアートプロジェクトの有効性やその成果、また課題などについてお話いただきます。

### 2 : ディスカッション 15:00 ~ 16:20

#### 地域における文化活動実施における問題点を議論する

第1部の講師、雨森信さんがファシリテーターとなり、参加者とともに地域文化活動の実践における様々な問題点について議論し、助成金活用や官民協働の方法の可能性、その解決の糸口を探ります。

### 3 : まとめ 16:20 ~ 16:30

講義やディスカッションを振り返り、今回のプログラムのまとめをおこないます。

## 講師 | LECTURER



### 雨森 信 Breaker Project ディレクター

2003年より大阪市文化事業の一環として「Breaker Project」を始動、西成区を拠点に地域に根ざしたアートプロジェクトに取り組み、独自の表現手法を編み出すアーティストと共に新たな表現領域を開拓する。また「水都大阪2009」にて藤浩志のプロジェクト「かえるシステム」、「BEPPU PROJECT2010」、「札幌国際芸術祭2017」、「さいたま国際芸術祭2020」などでキュレーターを務めるなど、様々な現場において地域に根ざしたプロジェクトの実践に取り組み、活動を通して「現代の社会における芸術の役割」を探求する。

## Breaker Project とは…

2003年より大阪市の文化事業としてスタートしたブレーカープロジェクトは、芸術と社会をつないでいくことを目的とし、表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造活動の現場をまちの中に開拓していく地域密着型アートプロジェクトです。芸術表現活動を私たちの生活に取り戻すことで、芸術・文化の裾野の拡大を図ると同時に、市民一人ひとりが多様な価値観を獲得し、それぞれの想像力、創造力を育み、成熟した市民社会が形成されていくことをめざしています。

## 申込み・問合せ先 | 担当

京都府中丹地域アートマネージャー（朝重龍太）

TEL | 0773-62-2031 / 090-9147-0374

Email | a-07763@pref.kyoto.lg.jp